

県政 報告

ひでゆき通信 INSIGHT

慧眼

Vol.4
winter
2020

【げいがん】「物事の本質を鋭く見抜く力」「将来を見通す能力」



ごあいさつ

未だに収束の気配すら見えない新型コロナウイルスの感染拡大、年初からの様々な対処・対策により、私たちの暮らしは大きく変わってしまいました。マスクの着用や手指の消毒の励行に始まり、ソーシャルディスタンスの確保や3密の回避、さらには人と人との間を仕切る飛沫防止フィルムの設置などは、昨年までは思いもよらなかった光景です。

経済活動においても大きな影響が出ています。特に観光や外食産業の落ち込みは激しく、国や県においても大規模な支援策を実施していますが、まだまだコロナ以前への回復には程遠い状況です。このような中、北半球は新型コロナウイルス出現後初めての秋冬を迎え、さらなる感染拡大の危機を迎えています。感染拡大防止と経済活動再開の両立という大変難しい状況が続きますが、各個人においては今一度初心に立ち返り、マスクの着用や手指の消毒、部屋の換気など感染対策に努めながら、経済活動においては感染状況に留意したうえで、国や県の支援策「Go Toトラベル」や「バイ・ふじのくに」も利用していただきたいと思います。

また、依然として新型コロナウイルス感染者に対する差別や誹謗中傷が後を絶ちません。先日、通りすがったお寺の外壁に「コロナより怖い人のところ、大切なのは命」と書かれていました。感染抑止や医療によって救われるのも命、経済によって救われるのも命、そうして救われた命も、心無い誹謗中傷で痛めつけられることがあってはなりません。正解がないと言われ始めたコロナ対策、この先感染防止と経済対策を両立させていくには「政治の力」プラス、優しい「人のところ」が必要になっていくと思います。

さらに、「人のところ」という点ではもう一つの懸念が表れ始めました。人々が皆マスクをすることにより、幼児期の子どもたちの心の発達に影響が出るのではないかという点です。人は誰しも表情から相手の心の動きを読み取ることができる能力を有しています。この能力は幼児期に養われるといわれており、マスクで顔の半分が覆われた状態ではその発達に影響があるのではないかということです。外出時や他人と接する場面では仕方ありませんが、ご家庭での団らん時や屋外の人が少ない場面では、マスクを外して子どもたちに喜怒哀楽の豊かな表情を見せてあげていただきたいと思います。



静岡県議会議員

市川秀之

笑顔・元気あふれる街に！

コラム1 大型プロジェクトの今後は?

新型コロナウイルスの出現は私たちの生活を一変しましたが、県行政にも大きな影響を与えています。県庁でも職場の密を避けるためテレワークの導入や時差通勤の拡大、昼休みの分散化などに取り組んでいます。

県政運営上、最も心配なのが県財政への影響です。感染症対策と社会経済活動再開に向けた取組については国の

交付金等による財源措置があるものの、企業の生産活動や消費の落ち込みによる県税収入への影響は避けられず、大きな財源不足が生ずる恐れがあります。

また、県事業実施の前提である社会経済状況や県民の意識、ライフスタイルが大きく変化していると考えられます。多くの県民が利用する施設については、アフターコロナに対

応した施設であることが求められます。

こうしたことから、県ではこれから整備を進める次の6つの施設について、事業の必要性や規模、整備時期など計画の総点検を行った結果、見直しの方向性(案)を作成しており、今後、県議会や県民の意見を反映して決定することとしております。

施設名	見直しの方向性(案)
動物管理指導センター(浜松市西区)	基本構想策定を令和2年度から令和3年度以降へ、他施設との合築、併設など最適な整備・運営方法を検討
農林技術研究所茶業研究センター(菊川市)	令和2年度から4年度設計・5年度から6年度工事・6年度開所、圃場移転など研究棟以外の整備の一部を後年度へ
温水利用研究センター沼津分場(沼津市)	国の次期栽培漁業方針が明らかになってから設計に着手、その間老朽個所は修繕で対応
遠州灘海浜公園篠原地区野球場(浜松市西区)	アフターコロナに対応した施設とするため、「公園の配置計画に関する比較検討原案」を見直し、見直し案を作成した時点で県民意見等を再聴取、基本計画策定は令和3年度以降へ
県立中央図書館(静岡市駿河区)	アフターコロナに対応した「新しい図書館」としての機能を検討、広くアイデアを募るため、令和2年度にアイデアコンペを追加実施
県立学校等長寿命化(老朽校舎建替)	県立高校のあり方を踏まえ整備を行うため、第四次高校長期計画を前倒して検討・策定

この中で特に遠州灘海浜公園篠原地区野球場と県立中央図書館については、私の所属する会派(自民改革会議)でもプロジェクトチームを作り議論をしております。また、県民の皆様の御意見をお聞きしながら施設のあり方を決定していくことになりますので、私もできるだけ丁寧に説明をしていきたいと思っております。



コラム2 今こそ地域の産業遺産を訪ねてみよう!

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、長距離の移動や混雑の回避だけでなく、出掛けることそのものを躊躇されている方も多いと思います。ただ、コロナ対策の長期化に伴い、外出を避け「巣ごもり」を続けるのにも限界があります。「今だから身近な地域資源を見直す」というのもコロナ禍の過ごし方として、選択肢の一つだと考えます。

私がお薦めするのは、県内、特に遠州地域の「産業遺産」巡りです。産業遺産とはある時代の地域の産業の姿を現在に伝える遺物などで、県内では韮山反射炉が真っ先に思い浮かびます。しかし韮山反射炉ほど有名でなくても地域の産業の発展を築いた遺産はほかにもあります。

旧王子製紙製品倉庫(天竜区春野町)や旧宮崎製糸鷺津工場乾繭倉庫(湖西市)、現在も静岡銀行浜松営業本部として使われている旧遠州銀行本店(中区田町)、木下恵介記念館として使われている旧浜松銀行集会所(中区栄町)などです。

さらに産業より少し範囲を広げて教育や交通など地域の発展を支えたものも含めるとかなり多くの遺産が挙げられます。教育に着目すれば旧石神尋常小学校(天竜区石神)や



旧二俣町役場(現本田宗一郎ものづくり伝承館)表面に櫛で引いたような浅い平行の溝を施したスクラッチタイルと上げ下げ窓が特徴

旧見付学校(磐田市)、行政では旧二俣町役場(現本田宗一郎ものづくり伝承館、写真参照)や旧周智郡役所(森町)があります。交通については天竜浜名湖鉄道二俣駅構内に残る旧国鉄二俣線の施設や鹿島橋、新居から弁天島への浜名橋、掛塚灯台(磐田市)がその代表で、少し足を伸ばせばギネス認定の

世界一長い木造歩道橋「蓬莱橋」(島田市)があります。

これらを見ていくと、旧遠州銀行本店と旧浜松銀行集会所はともに中村興資平という人の設計であることがわかります。浜松市出身の中村興資平は戦前のわが国を代表する建築家で、東京三田の国立天文台や豊橋公会堂のほか、

海外ではソウルの朝鮮銀行本店や満州の朝鮮銀行大連支店、県内では静岡市役所本館や静岡県庁本館など数多くの設計を手掛けました。高架前の旧遠州鉄道新浜松ビルも同氏の設計であったといえれば50代以上であればその姿をなつかしく思い出す方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

人物のほか、建造物のデザインや機能に着目して見っていくのも広がりがあり、とても興味深いと思います。さらに産業遺産巡りとセットで、地元寄り添った営業を続けているお店で食事や買い物をするのも楽しみではないでしょうか。

静岡県の産業遺産に関心のある方は、「静岡県のすごい産業遺産」で検索してみてください。ここに紹介したものを含



蓬莱橋(島田市)

め県文化政策課がまとめた情報が掲載されています。なお、見学を希望する場合は、必ず事前に見学が可能であるか確認をしてお出掛けするようにしてください。

9月県議会 定例会

議会で可決された主な議案

◆令和2年度一般会計補正予算
85億700万円

新型コロナウイルス感染症対策<99億2,900万円>

- ・ クラスター発生時等のPCR検査体制拡充
- ・ 市町が実施する避難所等の感染症対策の支援拡充
- ・ 重点医療機関の空床保障の単価引き上げ
- ・ 緊急小口資金等の特例貸付の受付期間延長に伴う
県社会福祉協議会への貸付原資助成 ほか

「新しい生活様式」を踏まえた取組<11億9,500万円>

- ・ 首都圏からの企業・人材誘致の情報発信
- ・ オンラインを活用した移住・転職説明会の開催
- ・ テレワーク等のための住宅改修への支援
- ・ 山の^{くに}洲の連携による県産品の消費拡大 ほか

見直し等による事業費の減額<△24億6,700万円>

- ・ 事業の中止・縮小・延期
- ・ 実施方法の見直し ほか

その他<△1億5,000万円>

- (増額分) ・ 7月豪雨により被災した農業生産施設の
復旧
- ・ 県税還付金の増額
- (減額分) ・ 県立学校老朽化対策工事のスケジュール
変更による減額 ほか

財源は、減収補填債、国庫支出金などを活用

(予算累計額 1兆4,009億5,400万円)

◆静岡県中小企業緊急金融支援基金条例

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている中小企業者に対する金融上の支援を行う事業に要する経費に充てる基金を創設するための条例の制定です。

意見書

◆意見書

- ◎防災・減災、国土強靱化のための対策のさらなる
推進に関する意見書
- ◎別居・離婚後の子供の適切な養育環境の確保に関
する意見書
- ◎文化財の後世への継承と活用に関する意見書
- ◎軽油引取税の免税措置の継続を求める意見書
- ◎ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を
求める意見書

常任委員会

「文化観光委員会」

Q 観光地ワーケーション推進事業の目的と内容は？

【ワーケーション】

ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語観光地などの休暇先でテレワークを活用しながら仕事と休暇を両立すること

A 新型コロナウイルス感染症の影響により拡大しているテレワークを観光地に取り入れ、ワーケーションを推進する。ワーケーションのアンケートやヒアリング調査を実施し、実現の可能性を検証する。



Q エコパスタジアムのラグビー環境の具体的な整備内容は？



A ラグビー場を現在の2面から5面に整備する。ラグビーワールドカップ以降、エコパで大会を開催したいとの声も多く、公式戦が同時に5試合できる環境を整備し、大会や合宿の誘致につなげる。

Q 富士山静岡空港に、静岡・山梨両県の特産品等を紹介する協働施設を設置する目的、具体的な施設の内容、今後のスケジュールは？

A 来年夏に予定される中部横断自動車道の開通により、一層交流が期待される両県への人の流れの拡大を図るとともに、特産品の需要の拡大、経済の活性化につなげる。空港を訪れる国内外の皆様の特産品や観光資源をアピールできる施設とする。今後、関係者と調整してスケジュールを詰めていく。



Topics

高齢者の運転免許証更新について



70歳以上の方が運転免許証の更新を受けようとする時は、高齢者講習を受けなくてはなりません。さらに75歳以上の方はその前段階として認知機能検査を受検する必要があります。

これらの講習や検査は自動車教習所で受けていただきますが、多くの学生が教習所へ通う春休みや夏休みの繁忙期には、この講習等の予約が取りにくい状況となっています。

静岡県警では免許証の有効期間が切れる約6か月前に検査・講習のお知らせはがきを送付し、早期の受講を促すほか、教習所の空き状況を案内する専用ダイヤルの設置、さらには公安委員会による認知機能検査の直接実施などを行って混雑解消に向け対応をしています。

また、県西部地域におきましては浜松自動車学校が今年の10月から高齢者ドライバーに特化した講習センターを開設し、今後増加が予想される高齢運転者に向けた対応・対策が図られています。

認知機能検査の受検や高齢者講習の受講は予約制で県内のどこの自動車学校等でもできます。予約がなかなか取れない場合やご相談は、静岡県警察本部運転免許課「**高齢運転者支援ホットライン 054-250-2525**」へ連絡してみてください。

受付時間は平日のAM10:00~PM5:00です。



静岡県議会議員

市川秀之



プロフィール

昭和41年11月20日生まれ
 家族構成：妻・2男1女
 趣味：ゴルフ・カメラ・文化芸術鑑賞
 静岡県立浜名高校 卒業
 日本大学経済学部 卒業
 市川産業(株) 入社 現 代表取締役
 学校法人北浜学園 北浜幼稚園 理事
 平成18年度 (社) 浜北青年会議所 理事長
 平成19年度 浜松市伎倍小学校 PTA会長
 平成21~24年度 浜松市PTA連絡協議会 副会長
 令和元年(2019年) ~ 静岡県議会議員

ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

【市川秀之事務所】
 〒434-0013 静岡県浜松市浜北区永島577
 TEL053-443-8700 FAX053-443-8703

【静岡県議会 自民改革会議 控室】
 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
 TEL054-221-2566 FAX054-221-3379

<http://www.ichi-hide.com/index.php>

[E-mail] hide-ichikawa@mth.biglobe.ne.jp

